

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日 時	令和6年11月28日(木曜日) 午前10時から午前12時00分まで
3	会 場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	小林勉会長、宮下由紀副会長、阿部勇委員、伊藤勝廣委員、伊藤孝二委員 上野隆子委員、清水真季委員、清水正志委員、須長弘二委員、田中幸子委員 田村卓也委員、手塚博邦委員、中山康昭委員、長谷屋淳一委員、柳沢裕美委員 吉池由美委員、割田栄二委員
5	市側出席者	中村丸子地域自治センター長、春原丸子地域自治センター次長兼地域振興課長 小林丸子地域振興政策幹兼丸子地域教育事務所長 竹下丸子地域建設課長兼丸子地域農地整備事務所長、松崎丸子消防署長 矢ヶ崎丸子・武石上下水道課長、坂口丸子学校給食センター所長 久保田地域振興課長補佐兼地域政策担当係長、青木統括幹、中島主任、藤野主事 【丸子市民サービス課】山崎課長、生活環境担当 緑川係長 【丸子産業観光課】茅野課長、宮下課長補佐兼農林振興担当係長
6	その他出席者	上田地域広域連合 地域医療対策課 小林係長
7	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
8	傍聴者	0人 ・ 記者 0人
9	会議概要作成年月日	令和6年12月4日

1	開 会 (センター次長)
2	あいさつ (小林会長)
3	会議事項 (進行 小林会長)
	(1) 「丸子雑排水汚泥処理場」施設廃止について 【資料1】
	・丸子市民サービス課より、丸子雑排水汚泥処理場を廃止し、南部終末処理場(下之条)に建設中の「し尿前処理下水道投入施設」に丸子・武石地域の処理を移すことについて説明した。
	<質疑・応答>
	(委 員) 処理する場所が遠くなるが、料金は上がるのか。
	(担当課) 環境政策課で「し尿前処理下水道投入施設」の受入れ料金及び汲取り料金を検討している。事務局の考えがまとまれば、上田市廃棄物処理審議会に諮って最終決定する。現時点においては、料金について申し上げることができないが、料金は上がる見込み。
	(会 長) 特別、反対意見はないようであるため、丸子地域協議会としても廃止の方向ということでまとめさせていただく。
	(2) 「(仮称)道の駅まるこ」基本計画(案)について 【資料2】
	・丸子産業観光課から、「(仮称)道の駅まるこ」基本計画(案)について説明した。
	<質疑・応答>
	(委 員) 竣工は令和11年で、令和12年から使うということになるのか。
	(担当課) そのとおり。ただし、民間事業者の資金調達で行うため、速く資金調達できる業者が落札すると、もう少し早くなる可能性もある。
	(委 員) コンセプトの中に「活気のある(稼げる)道の駅」とあるが、市が負担する約17億円を何年かけて回収するのか。何年後から収益に繋がるような計画になっているのか。
	(担当課) 今のところ、建設費について採算をとる考えはない。維持管理費の面で稼げる道の駅を目指す。ただし、建設費も全て負担するのではなく、業者から何らかの形で収入を得る考えであ

る。約 17 億円の回収はなかなか難しいと思うが、それ以上に公共施設が無くなっている東内・西内地域に活気を取り戻すということが一番の趣旨になる。

(委員) 温泉事業等の赤字に対して、市から財源が投入されたと思う。道の駅に入る民間事業者の経営が厳しくなったときに、温泉施設のように市が負担することはあるのか。

(担当課) 開業後 15 年間は独立採算という条件で民間事業者を募集するため市の補填は無い。しかし、赤字の場合、15 年後に民間事業者が撤退してしまう可能性があるため、リスク管理について今後考えていかなければならない。赤字であっても、独立採算だからと何もケアしなければ地域振興策としてもダメになってしまう。

(委員) 約 130 台の駐車場が計画されているが、防災の面で考えた時に足りないと思う。例えば三才山トンネルが大雨等で崩れて通れなくなった場合、道の駅を緊急避難所として機能させるとなると、約 130 台ではすぐにいっぱいになって道路に駐車する車も出て大変な渋滞が発生する。沿線に旧西内小学校や東内保育園跡地があるが、そうした近隣の避難所の環境も考えながら作らなければならない。いざというときに緊急避難所は近くの者だけでなく一般の者も誰でも入っていいという形であるため、十分な機能を果たせるかどうか心配だ。ただ作ったからいいというものではなく、避難所の機能を維持するものとして相当に考えて作っていただきたい。

(担当課) 今後検討させていただく。県からは、農地を潰す関係もあるため必要最低限の土地使用について指導されている。また、台数については高速道路のパーキングエリア等の算出基準からこの数としている。三才山トンネルが天災により通れないときの交通渋滞も想定して台数確保について考えなければならないが、県としては平井寺トンネルで塩田や国道 152 号に迂回するような考えでいる。

(委員) PFI 方式や業者の関係について聞きたい。建物の構造等について、特産品販売等の業者が参加をして負担するような施設にしていくということか。

(担当課) そのとおり。維持管理する会社、建設する会社、販売する会社等の企業共同体を作って申し込む場合が多い。最近の事例として、八千穂高原の道の駅では、建設業者が先頭に立って物を売りたい業者と一緒に参画して維持運営をする手法をとっている。

(委員) 用地買収、造成、建物建設と関わるのか。

(担当課) 用地買収は市で行い、盛り土は県で行う予定。その上の整地からというイメージになる。

(委員) そのような整備費用について、市が分割払いで 15 年かけてそれぞれの業者に支払うということか。

(担当課) そのとおり。ただし、約 17 億円すべてを民間が調達するのではない。財源に使える補助金を最大限に活用する。足りない分を民間で用意するようなイメージになる。

(委員) 長和町の道の駅は、漬物屋等の民間業者が入り直売所等が併設している。今回計画している道の駅も、参画した民間業者が企画して作るということか。

(担当課) そのとおり。

(委員) 子育て支援機能・休憩機能について、屋外に子どもが遊ぶ場所があると思うが、八千穂高原の道の駅のように屋内に子どもが遊べるようなものを建設するのか。

(担当課) 現在、市では計画していない。そういった発想を民間に委ねている。例えば、緊急避難所に屋内でも遊べる遊具を置いて普段の子どもの遊び場を作るような提案は考えられる。民間の自由な発想で、人が来る施設にしていいただきたい。

(委員) 駐車場の問題について意見があったが、1 万 9 千 5 百㎡という全体敷地面積は、日本の道の駅として大きさはどのくらいか。

(担当課) 長野県としては大きいほうになる。群馬県の赤城にある道の駅のように、事業規模が 40 億円から 50 億円の大きな道の駅もできているため、全国的には中規模となる。

(3) 「地域協議会の設置単位等」及び「地域まちづくり方針」の答申案について

【資料 3-1】【資料 3-2】

- ・事務局から、下記の 2 つの諮問について答申案を提示し、承認された。
- ・上田地域における地域協議会の設置単位と委員数等について (市民参加・協働推進課)
- ・第三次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について (政策企画課)

<質疑・応答>

なし

4 その他

(1) 救急医療シンポジウムについて

- ・上田地域広域連合地域医療対策課から、「救急医療シンポジウム」(令和 6 年 12 月 15 日開催)について案内した。

<質疑・応答>

なし

(2) 今後の協議会日程について

第 9 回	12 月 26 日 (木)	午前 10 時	丸子地域自治センター	4 階 講堂
第 10 回	2 月 6 日 (木)	午前 10 時	丸子地域自治センター	4 階 講堂
第 11 回	3 月 6 日 (木)	午前 10 時	丸子地域自治センター	4 階 講堂

5 グループワーク (住民自治組織に係る諮問案件について)

- ・丸子まちづくり会議のメンバーを招き、4 つのグループに分かれて、市民参加・協働推進課からの諮問案件「丸子地域の住民自治組織の役割と今後の在り方について」について意見を交わした。

6 閉 会